

## eポートフォリオ「立教時間」の新機能

### 1. 概要

本学のeポートフォリオシステム「立教時間」は、2017年度に全面更新を経て全学運用を行っている。

学生の正課・正課外に関わらないあらゆる活動を「立教大学の学び」として捉え、その学生生活の記録の蓄積と振り返りを実現する学修支援システムとして、今後さらに広く活用されることが期待されている。

2018年12月からは「課題」機能が追加され、授業での活用がより広く可能となった。以下に新機能の概要、ならびに、授業での活用を想定した活用シナリオを例示する。

### 2. 機能

#### (1). 学生が利用する機能

##### ① 授業

学生が履修している科目が設定され、以下の機能を利用することができる。

- a. 教員が提示した資料の参照やダウンロード
- b. 課題の確認や提出
- c. 授業における目標の設定
- d. グループ毎の課題作成や評価
- e. レポート試験の提出
- f. Blackboardで作成した課題への連携

##### ② 目標

学生が自身で目標を設定する。また、予め大学が設定している学部の学位授与の方針や、各学修期の目標、各授業科目のシラバスに記載された「授業の目標」などを参照する。

##### ③ イベント・プログラム

正課外プログラムやセミナー、説明会などのイベント・プログラムや各種手続きの申し込み、正課に関する事前手続きなどを行う。

##### ④ 行動記録

学生自身が、用意されたワークシートを使用し、各種活動内容の記録と参照をする。また、大学で実施したプレイスメントテスト等の結果を参照する。

##### ⑤ 成果物一覧

学修期ごとの自身の成果物を確認する。

##### ⑥ お知らせ

イベント・プログラムを含めたお知らせを確認する。

(2). 教員が利用する機能

担当する科目において、以下の機能を利用することができる。

- ① 資料などのコンテンツのアップロード
- ② 提出された課題の確認や採点
- ③ 学生の設定した目標の確認
- ④ グループの作成
- ⑤ レポート試験提出物の類似性判定機能連携

(3). 具体的な活用シナリオ

- ① 目標設定と振り返り
  - a. 学生に対して、シラバスを参照したうえで、授業を通じて習得したいことを「授業の目標」として設定するように促す。
  - b. 設定された目標について、内容を確認して適宜フォローを行う。
  - c. 一定期間経過後に振り返りを実施する。
- ② 資料と課題の提示
  - a. 事前に授業で使用する資料の提示を行い、事前学習を促す。
  - b. 授業内容を踏まえて、授業後に課題（宿題）を提示する。
- ③ レポート試験の Web 受付
  - a. レポート試験を Web 受付として、データでの回収を行う。
  - b. 提出されたデータは Turnitin を利用して類似性判定を行う。

以上